

**ガーナ共和国アシエ地区シングルマザー支援事業 Phase I**  
**(事業期間: 2021年5月1日～2022年2月12日)**

Ver.1

2022年3月6日

**国際NGO ViVID**



## 目次

### I. 国際NGOViVIDについて

1. 国際NGO ViVIDとは	3
2. 当団体のビジョン	3
3. 団体名、団体名・スローガンに込めた想いと哲学	3
4. 当団体の3つのミッション	4
5. 当団体の3つの掛け算 “Inclusion × Participation × Partnership”	4

### II. 事業について

1. 事業の背景	5
2. 事業目的	5
3. 事業の実施地について	6
4. 事業の概要	6
5. 事業の流れ・スケジュール	7

### III. 事業レポート

《Step1》2021年6月30日～8月20日 家庭訪問アンケート調査	
《Step2》2021年9月4日 第1回定期MTG	8
《Step3-1》2021年10月9日 第2回VAMMTG	12
《Step3-2》2021年11月13日 第3回VAMMTG	14
《Step4-1》2021年1月15日 第4回VAMMTG	15
《Step4-2》2021年2月12日 第5回VAMMTG	22
	26

### IV. 総括と展望

1. 当事業の目的別の総括と今後の展望	
2. ViVIDの3つの掛け算からみる総括	30
3. 現地担当者 Elikemによる総括	31
	32

# I. 國際NGO ViVIDについて

## 1. 國際NGO ViVIDとは

國際NGO ViVIDは、2020年2月に設立された日本の非政府組織であり、すべての人を包括的に巻き込みながら地域社会を発展させ、アフリカをより色鮮やかにするというビジョンと、「Colorful Life For All」をスローガンに掲げ活動しています。

また、弊団体は、全てのコミュニティ住民、特に乳幼児、幼児、子供、女性、高齢者、身体的/精神的障害のある人、失業者などの脆弱な人々の生活の質の向上を目指して活動しています。

さらに、弊団体は、すべての国連加盟国が、2030年まで達成に向けて取り組むことに合意した、17の目標と169のターゲットが含まれている持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。「SDGs17.16と17.17のパートナーシップ」(\*1)と「ViVIDの5色の哲学」(\*2)に基づき、「ViVIDの3つの掛け算」(\*3)を通して、「ViVIDの3つのミッション」(\*4)を達成することを目標に活動しています。

## 2. 当団体のビジョン

弊団体のビジョンは、「ViVIDの5色の哲学」に基づき、「ViVIDの3つの掛け算」により、「ViVIDの3つのミッション」を達成し、「あらゆる人々を巻き込んだ地域コミュニティ開発でアフリカをより色鮮やかに！」です。

## 3. 団体名・スローガンに込めた想いと哲学

### 3-1. 団体名「ViVID」

弊団体の団体名 ViVIDは、「Vivid Village for Inclusive Development」の略称です。弊団体が地域コミュニティ開発で実現を目指している「活気溢れる Village」を連想させる「vivid」という英単語を団体名・団体名の略称に使用しました。また、当団体がアフリカ開発事業を行う上で最も大切にしたい概念「Inclusion」(=巻き込んだ / 取りこぼしのない)を団体名に入れ込みました。

以下、弊団体が「vivid」という単語から連想したアフリカのイメージです。

- 活発なアフリカの人々の生活
- 異なる価値観をもつ人々が楽しく暮らす様子
- 原色を使用したアフリカの絵画や洋服

### 3-2. スローガン「Colorful Life for All」

弊団体は、乳幼児、子供、女性、高齢者、身体・精神障害者、非雇用者等、脆弱な立場にある人々を含む、全てのコミュニティ住民の QOL (Quality Of Life: 生活の質) の向上を目指し、ViVIDの活動に携わる全ての人々が vividで色鮮やかな生活を実現するために、スローガンとして「Colorful Life for All」を掲げることにしました。

Colorful life for All

### 3-3. ViVIDの5色の哲学

#### 青の哲学: 透明性

弊団体は、団体運営と事業活動の透明性を保ち、活動を行います。

1. 寄付金や援助金が、途上国政府やコミュニティの権力者の汚職・賄賂などに貢献することなく、適切な事業の中で適切なタイミングでオープンに使用され、最終的に問題を抱えるターゲットのコミュニティや地域住民に届き、効果を上げているかどうか随時公表しています。
2. 弊団体内における意思決定、事業目的・内容を見え易く、分かり易く公表していきます。
3. 第三者が検証可能な形で記録を残し、情報を随時公開しながら活動をしていきます。

以上3点、透明性を高めながら活動することで、地域住民やステークホルダーに当団体の活動を理解してもらい、より効率的で効果的な開発事業が行えると信じています。

#### 黄の哲学: 独立・公平性

弊団体は、いかなる宗教・政治団体と関連のない独立した非営利組織です。いかなる意思決定も外からの圧力に屈することなく、弊団体のビジョンと基本理念に則って運営を行なっています。また、当団体はいかなる地域住民に対しても、年齢、性別、国籍、人種、性的指向、社会的・経済的地位、障害の有無、宗教観・政治観に関係なく、公平かつ平等に接します。

#### 赤の哲学: 地域密着

弊団体は、いかなる活動を行う際も、地域住民の意見に耳を傾け、コミュニティに敬意をもって接します。また、コミュニティに元来から存在する社会構造・価値観を尊重し、地域住民の目線でコミュニティに合った事業を計画し実行します。弊団体は、地域住民と信頼を築きながら地域住民と共に地域コミュニティ開発を行なっていくこと、地域住民が主体的に地域コミュニティ開発に参加できる環境づくりを行なっていくことが最も重要なことだと考え、多くの地域住民に愛してもらえる団体になれるように努力します。

#### 緑の哲学: 持続可能性

弊団体は、コミュニティが抱える 幅広い様々な課題(飢餓・貧困・水・栄養・教育・衛生・医療・福祉・ジェンダー・農業・環境・エネルギー)を解決し、新しい価値創造・機会創出を行います。また、将来のコミュニティのために環境を守り、将来の世代にも満足してもらえるような持続可能な開発を行なっています。

#### 橙の哲学: 説明責任

弊団体が考える説明責任とは、会計における財務関連の説明だけでなく、弊団体の事業に関わる全てのコミュニティメンバー、ステークホルダー、助成金を提供して下さる団体・組織の方々、また ViVIDをいつも応援してくださっている皆様に対して、事業活動予定や内容、結果等の詳細報告を適時行うことであると考えています。また、行動・選択・決定の基となった考え方を公表し、弊団体の活動の趣旨を、弊団体と関わる全ての方々に理解をしてもらえるように努力します。

\* 1.

SDG 17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップのマルチステークホルダー・パートナーシップによる補完を促進し、それによるナレッジ、専門知識、技術、および資金源の動員・共有を通じて、すべての国々、特に開発途上国の持続可能な開発目標の達成を支援する。

SDG 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

\* 2. ViVIDの5色の哲学「透明性、独立・公平性、地域密着、持続可能性、説明責任」

\* 3. ViVIDの3つのミッション「課題解決、価値創造、機会創出」

\* 4. ViVIDの3つの掛け算「Inclusion × Participation × Partnership」

## 4. 当団体の3つのミッション

「ViVidの3つのミッション」とは、以下の3つを指し、これらを事業で達成できるように活動しています。

1. **課題解決**：コミュニティが抱える社会問題を解決します。
2. **価値創造**：コミュニティの宝を探し、生活向上や自己実現のための具体的な事業に落とし込みます。
3. **機会創出**：コミュニティの生活向上や自己実現に繋がる機会を創出し、住民に選択肢を提供します。

## 5. 当団体の3つの掛け算 “Inclusion × Participation × Partnership”

「ViVidの3つの掛け算」とは、以下の3点をかけあわせることを指し、この掛け算に基づいたアプローチで事業を実施します。

1. **Inclusion(包摂)**  
-脆弱な立場にある住民を含めた全ての住民を包含すること  
-コミュニティメンバーを開発プレイヤーに含めること  
-多種多様なステークホルダー(個人、NGOs、民間企業、研究機関等)を巻きこむこと
2. **Participation(参加)**  
-コミュニティメンバー・ステークホルダーが活動計画から実行、評価に主体的に参加すること
3. **Partnership(連携)**  
-コミュニティと対等な関係で協力すること  
-国・地域・活動分野の垣根を越えて、課題解決に最適なステークホルダーと協力すること



# II. 事業について

## 1. 事業の背景

### 1.1. ガーナのシングルマザーの問題

日本と同様に、アフリカにおいても、シングルマザーの増加は近年大きな社会問題となっています。日本では教育費や就業支援のような政府による総合的支援が広がっていますが、ガーナ共和国をはじめとするアフリカ諸国では、政府からのシングルマザー支援が十分ではないため、片親世帯はパートナー不在による社会的経済的不利な立場に立たされている現実があります。GALL UP (2020)※1によると、ガーナ共和国におけるシングルマザー世帯のうち半数が貧困のラインを下回っています。さらにシングルマザーは、パートナー不在による社会的経済的不利な立場に陥るだけではなく、精神的負担も負うこともあります。例えば、パートナーを失うことで、残された子供を1人で養育していく責任感により、友人との接触・社会組織への自発的な参加が少なくなってしまう場合があります。さらに、元パートナーから家庭内暴力を受けていた場合には、ストレス障害の発症といった精神的疾患を発症することもあります。

当団体の提携コミュニティの一つであるアシエ地区でアンケート調査を行なった結果、精神的・経済的サポートが必要なシングルマザーが多数存在することが判明しました。そこで、当団体の共同創設者である方しおんの母親の友人であり、学校運営を通して社会課題に取り組む、アシエ在住のエリケムと共に、シングルマザーに対する精神的サポートと経済的サポートをしていくことにしました。

### 1.2. ガーナのシングルマザーの割合が高い原因

ガーナにおけるシングルマザー世帯は、全世帯のうちの19.4%を占めています。同期間(2014年～2018年)のGALLUP (2020)※1の調査によると、世界のシングルマザー世帯(片親かつ未婚の子供の世帯)の割合は13%です。ガーナのシングルマザー世帯の割合は世界的な割合と比較して高いと報告されているのです。原因是、死別・高い離婚率・父親の子供受け入れ拒否・婚姻関係のない間に子供を授かる・裁判所による後見人決定などが挙げられます。

※1:GALL UP (2020)

[https://news.gallup.com/topic/country\\_gha.aspx](https://news.gallup.com/topic/country_gha.aspx)

### 1.3. 事業実施に至った経緯

学校運営者であり、社会活動家であり、天気予報士でもあるエリケムは、当団体共同創設者である方しおんの母親の知人で、長年、交友関係を築いてきました。ViViDの団体創設直後に実施した第1回現地視察(2020年3月)の際に、方はアシエ地区を訪問し、エリケムの学校についてヒアリング調査を行いました。その結果、エリケムの学校に学費滞納、文房具も購入できない児童が多くいることを知ります。さらに、そういう児童の中に、より経済的困難な生活を強いられている片親世帯で育つ子供達も含まれていることが分かりました。

方が現地視察を終えて日本に帰国したのち、2020年6月にエリケムと再び連絡を取り、経済的に問題を抱えるアシエ地区のシングルマザーを対象にした職業訓練事業を実施したい旨を聞きます。当団体のメンバーは、その後エリケムが提出した事業案をもとに、エリケムと議論を重ね、事業計画へと落としこみ、2021年5月に事業を開始するまでに至りました。現在エリケムは、現地のボランティアメンバーとして当団体に所属し、現地プロジェクトマネージャーとして事業を推し進めてくれています。

## 2. 事業の目的

アクラ・アシエ地区におけるシングルマザーの問題を、1.精神的サポート2.経済的サポートを実施することでシングルマザーたちのエンパワーメントを図ります。

具体的には、以下のように事業を実施していきます。

### 2.1. 精神的サポート

#### (1). ネットワーキング構築

##### ① シングルマザー同士:

- 精神的な孤独を感じない環境をつくる。

##### ② シングルマザーとコミュニティ住民:

- 精神的な孤独を感じない環境をつくる。

#### (2) カウンセリング

- 悩みを言語化し、第三者からの精神的なサポートを受ける。

#### (3) 子ども支援

##### ① 子ども向けプログラム:

- 幼い子供を持つVAMのメンバーの出席率向上を量る。

##### ② 子育て支援:

- 子育てにおける課題の解消方法を知る。

## 2.2 経済的サポート

### (1) 職業訓練

#### ① 全般:

- 職業訓練の目的とアプローチ方法の理解する。

#### ② パン製造:

- パン作りの工程を体得する、
- 材料の調達から販売までの流れを理解する。

#### ③ ファッション:

- 服飾製品の製造工程を理解し、安定した収入に繋がる質の良い製品を作るスキルを身につける。

### (2) ビジネス講習

#### ① 全般:

- 顧客の購買プロセスを考えたサービスの提供を目指す。收支計算書の作成をし、収入・支出を明確にする。

#### ② Basic:

- 最終学歴が中学校卒業以下のVAMメンバーが、ビジネスの基本的知識を習得する。

#### ③ Advanced:

- 最終学的が高校中退以上のVAMメンバーが、ビジネスの応用知識も習得する。

## 3. 事業の実施地について

アクラは、ガーナ共和国の首都であり、アフリカ西部ギニア湾に面しています。海岸から20 kmほど内陸まで都市が広がっており、国内で最大の人口を抱え、経済、政治、交通の拠点となっています。

当事業では、アクラの中のAshiyieというコミュニティのシングルマザーをターゲットに事業を実施します。

### 《Ashiyie基本情報》

人口: 3000人

産業: 大工や石工などの仕事や縫製の仕事、美容師などの仕事が盛んです。

位置: 首都アクラの中のAdentaという都市の郊外に位置し、隣の都市であるMadinaに近い場所にあります。アクラ中心地からは車で30分ほどの距離にあります。

## 4. 事業の概要

当事業は、大きく3つのPhaseに分けて実施していきます。

### Phase I(2020年度大竹財団基金助成事業期間):

家庭訪問、アンケート調査やインタビュー調査を通じ、シングルマザーたちが抱える問題を個別に明確化し、どのような精神的・経済的サポートが必要になるか対策を考えます。また、定期ミーティングでグループワークを繰り返すことで、同じ境遇にあるシングルマザー同士のネットワーキングの強化を図ります。より精神的サポートの必要なお母さんに専門家によるカウンセリングを行います。さらに、Phase IIで実施する職業訓練プログラムをシングルマザーの中で話し合い、実際にPhase IIの事業計画を作成していきます。シングルマザーを職業訓練プログラム作成過程に参加させ、当事者のニーズに合った事業計画を作成します。事業開始後も母親自身がより主体的になって取り組めることも期待できます。

### Phase II

経済的なサポートでは、Phase Iに作成した事業計画を踏まえ、シングルマザーはパン製造とファッション関連の職業訓練を行い技術を習得します。また、ビジネス講習も行い、ビジネスの知識を習得します。一方で、精神的サポートが必要なシングルマザーに対しては、継続的にカウンセリングを実施します。また、Phase Iで実施していた定期ミーティングは、シングルマザーの繋がりをより強固なものにするために継続します。さらに、シングルマザーとコミュニティ住民間のネットワーキングの構築を図るために、アシエ地区の住民をゲストスピーカーとして招き、地域住民とシングルマザーとの交流の場を作ることで、社会的な繋がりを構築していきます。加えて、ゲストスピーカーにも職業訓練プログラムに参加してもらい、シングルマザーとゲストスピーカー間のネットワーキングの強化を図ります。

### Phase III

精神的サポートを受け(Phase I・II)、シングルマザー同士の繋がり(Phase I・II)、社会的繋がり(Phase II)ができる一方で経済的サポートとして職業訓練(Phase II)による技術やビジネス講習によるビジネス関連の知識を習得したシングルマザー達が、実際に収益をあげます。引き続き、シングルマザー同士の定期ミーティングは、継続して実施します。

## 5. 事業の流れ・スケジュール

### 《Step1》

〈2021年5月1日〉

家庭訪問アンケート準備開始

〈2021年6月30日～8月20日〉

家庭訪問アンケート実施

### 《Step2》

〈2021年9月4日〉第1回VAM MTG

アシエ地区のシングルマザーを対象に事業説明会

### 《Step3》

〈2022年10月9日〉第2回VAM MTG

グループワークでの悩み共有やカウンセリングの必要性の調査

今後のスケジュール把握

〈2022年11月13日〉第3回VAM MTG

希望者に対する牧師とソーシャルワーカーによるカウンセリング

シングルマザー同士で悩み相談

### 《Step4》

〈2022年1月15日〉第4回VAM MTG

職業訓練プログラム説明会および体験会 part1

講師によるキャリア体験講談会

〈2022年2月12日〉第5回VAM MTG

職業訓練プログラム説明会および体験会 part2

phase I の総括会

### (参考)

シングルマザー支援事業概要説明会前に配布したチラシ

**International NGO VIVID**

**Single-Mother Support Project**

---

**About International NGO VIVID**

International NGO VIVID is a Japanese non-governmental organization, which was founded in February 2020. We work in Africa, with a vision guided by our principles, to assist in community development.



Colorful life for All

---

**About Single-Mother Support Project**

We are going to solve the single mother's Economic status and Mental problem in Accra with:

- practical support such as technical skills and job provision through vocational training. In the Vocational problem, we are going to invite some teachers who are actually doing business.
- mental support from counselors (if necessary)

---

**About Introduction session and opening Ceremony**

We are going to hold an information session about this project. We are looking forward to your participation. Should you have any questions please feel free to contact us at any time.

**4/9/2021**

**1pm～ 5pm at Matilda's International School**

**1pm-2pm Opening Ceremony**  
**2pm-2:30pm Short break**  
**2:30-4:30pm Introduction Session**  
**4:30pm-5pm Question survey**

---

**Inquiry**

Phone number: 0549617048 or 0277430067  
Address: No.76, Fulani Road

### III. 事業レポート

#### 《Step1》

2021年6月30日～8月20日

#### 家庭訪問アンケート調査

##### 調査目的:

ガーナ共和国首都アクラ市アシエ地区に住むシングルマザー28名に対し、彼女たちが個人的に抱える精神的・経済的問題と、当事業の中で受講したい職業訓練を明らかにするために、調査を行いました。また、Step2の「シングルマザー支援事業概要説明会」のチラシ配布し、興味を持ったシングルマザーに参加を呼びかけました。

##### 調査方法:

事業提案者であるエリケムが、実際にシングルマザーを家庭訪問し、アンケートを配布・回収しました。尚、インターネット環境が整っているシングルマザーには、結果をデータで提出してもらいました。

##### 調査結果:

###### ①精神的・経済的負担

事業提案者エリケムが当初より指摘していたとおり、アシエのシングルマザーたちは、精神的・経済的負担を問題に抱えているケースが多く見られました。経済的負担の背景としては月収が300～350GHS(日本円でおよそ6,000円～7,000円)とかなり低いことが挙げられます。[参照:(参考)「家庭訪問アンケート調査結果詳細」1-Q3.月収]

###### ②教育水準

彼女たちの学歴は、初等教育・または中等教育までが多く、ガーナの公用語である英語も読み書きができるていないことが、収入が安定する職につけていない要因の一つであることも明らかになりました。その他の原因として、パートナーからの金銭的サポートを受けていないこと、または受けていたとしても金銭額が少ないことや、行政の母子家庭金銭的支援サービスがないこともあげられます。さらに、経済的不安が精神的負担に繋がっているシングルマザーが多いこともアンケートの結果から分かりました。[参照:(参考)「家庭訪問アンケート調査結果詳細」1.経済的負担についての質問]

###### ③具体的な支援の要望

具体的な支援として、経済的サポートを求める声の他にも、精神的サポート、特に無料でのカウンセリングを希望する声が多くありました。[参照:(参考)「家庭訪問アンケート調査結果詳細」2.精神的負担についての質問／3.カウンセリングについての質問]また一方で、希望するカウンセラーに関しては、精神科医・臨床心理士・ソーシャルワーカー・牧師と、母親によって違いがあることが分かりました。精神的サポートに関しては、シングルマザーの宗教や個人が抱える精神的問題を考慮すべきだと考えます。

境遇が似たシングルマザー同士と定期的に活動していくことに対して、シングルマザーたちは好意的な意見が多く得られました。一方、金銭的に困っておらず、事業参加による収入増をあまり期待していない母親がいたり、自分の本業の負担にならない程度で当事業に参加したいというシングルマザーもいました。

###### ④職業訓練プログラムについての希望

職業訓練プログラムについては、石鹼づくり・布ナプキン作り・美容・飲食・教育の希望者が多かったものの全体的に散らばりが見られました。[参照:(参考)「家庭訪問アンケート調査結果詳細」4.職業訓練プログラムについての質問]

##### 調査結果を受けて:

シングルマザーのエンパワーメントを実現していくためには、「職業訓練を実施し収入増を図る」ことが最も効果的であると当初は考察していましたが、アンケート調査の結果から、シングルマザー達の精神面のサポートが持続可能な効果をもたらすと結論づけました。子育てによって仕事に専念できず、それによって精神的不安定に繋がってしまうシングルマザーもいます。そのため、Phase IIにおける精神面のサポートとして、シングルマザーと社会の繋がりやシングルマザー同士の繋がりの構築を目指し、定期ミーティングの中でグループワークを実施することになりました。また、より精神的なサポートが必要なシングルマザーに対しては、カウンセリングの実施も行います。当事業では、経済面と精神面の2つのサポートを平行し包括的にアプローチをかけることが、この事業の最上位目的であるアシエ地区のシングルマザーのエンパワーメントに繋がると結論づけました。

## 《Step1》 2021年6月30日～8月20日 家庭訪問アンケート調査

## 【家庭訪問アンケート調査結果詳細】

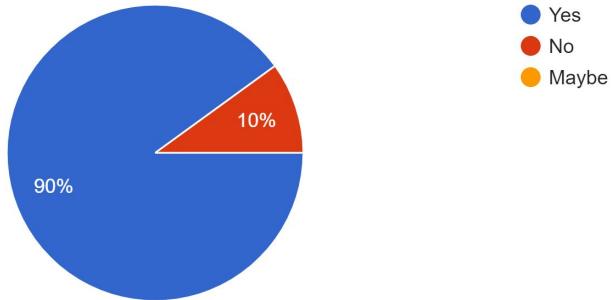
- ・年齢: 23～66歳
- ・家族の人数: 4～67人
- ・出身地: 多くはVolita
- ・子の年齢: 2～46歳 (最も多い年齢は11～15歳)
- ・初回妊娠年齢: 14歳: 1名、16～20歳: 8名、21～25歳: 3名、26～30歳: 3名、31～35歳: 0名、36～40歳: 3名、不明10名
- ・妊娠時の年齢: 14歳: 1名、16～20歳: 9名、21～25歳: 7名、26～30歳: 11名、31～36歳: 4名、36～40歳: 4名、41～45歳: 2名、46～50歳: 2名
- ・シングルマザーの学歴: 小学校卒: 28.6%、小学校中退: 21.4%、中学校卒: 21.4%、高校卒: 14.3%、大学卒: 14.3%
- ・父親の学歴: 小学校卒: 53.3%、小学校中退: 20%、高校卒: 26.7%。
- ・現在の職業: 美容師: 1名、IT: 1名、調理師: 2名、先生: 3名、商人: 9名、失業者: 1名
- ・勤務日数(1週): 1日56.3%、5日25%、7日12.5%、4日6.2%
- ・職に対する満足度: ポイント5以上13名 (46.4%)
- ・政府からの援助の有無: 無100%。(2名は4000、5000の支援あり: 満足度9)
- ・周りのサポートについて: 支援が欲しい(11名)無し(8名)
- ・欲しい支援: 経済的支援
- ・理由: 子供を養うため、ビジネスを行うため
- ・誰からカウンセリングを受けたいか: 心理学者、牧師、ソーシャルワーカー
- ・有料のカウンセリングは受けたいか: No: 81.3%、Yes: 12.5% (2名: 子が無職、自身の職 解雇)
- ・精神的にサポートしてくれる人がいるか: 母: 5名、牧師: 6名、無し2名
- ・シングルマザーの友人の有無: 有り: 13名、無し: 5名
- ・子供についての悩み: 教育費、子供への支援方法、生活費、
- ・子供の将来に関する政府への期待: 学校の建設
- ・パートナーと連絡がとれるか: Yes: 37.5 %、No: 62.5%
- ・シングルマザーになった理由: 死別、DV、未婚、自身の病気、パートナーがアルコール依存症
- ・パートナーからの金銭的支援: 有り: 56.3%、無し: 56.3%
- ・パートナーからの金銭的支援額: 平均: 166GHS
- ・パートナーとの関係性: 未婚11名
- ・今回の事業に参加を希望する者: 全員: 100%
- ・事業に期待するもの: ビジネス、シングルマザー同士で学びたい
- ・事業参加希望頻度 (少1→10高): 2: 1名、3: 4名、4: 1名、5: 1名、7: 1名、10: 8名

## 《Step1》 2021年6月30日～8月20日 家庭訪問アンケート調査

## 【家庭訪問アンケート調査結果詳細（一部抜粋）】

## 1. 経済的負担についての質問

## Q1. 現在経済的負担を感じているか。



## Q3. 経済的負担について

経済的負担を何に感じるかという問い合わせに対して、「生活費」や「子供の学費」に対してと回答するシングルマザーが多かった。一方で、「自分自身」や「親族」に対してと回答も見られた。

経済的負担を感じるようになった時期については、「パートナーと別れた時」や「子供が生まれた時」と答えるシングルマザーが多かった。「子供を出産した際に経済的負担を感じるようになった」と回答したシングルマザーは、「2児目」の時と回答した母親が多く、抱える子供の数が多ければ多いほど負担は大きい傾向にある。

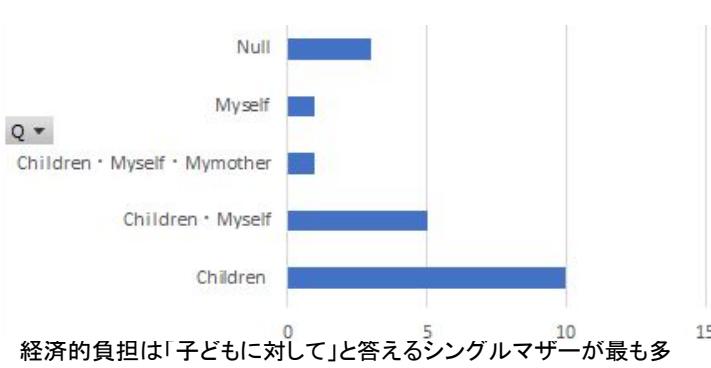
経済的負担を抱える理由としては、「パートナーがいないため経済的サポートがない」と答える母親が多かった。

数は少ない（2名）が、「就職できないこと」や「仕事の機会不足等」を原因に挙げらるシングルマザーもいた。

→パートナーと別れ片親になつたことが、経済的負担を生み出す原因になっている。

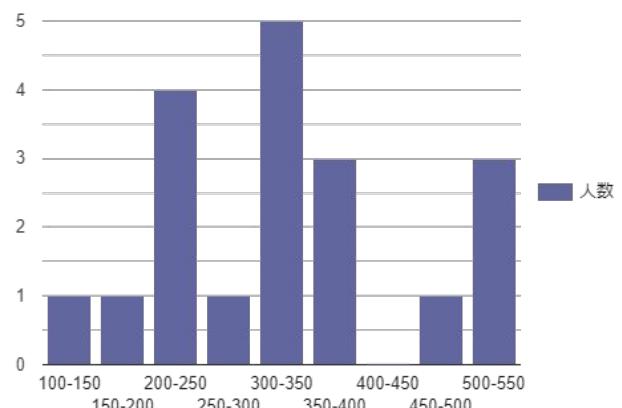
全員から回答を得ら、2名を除く全員が「はい」と回答した。  
→多くのシングルマザーたちが経済的負担を抱えている。  
「いいえ」との回答者は、最終学歴が「大学・高校卒業」の2名で、英語力も比較的高い⇒学歴と経済状況の関連性があり。

## Q2. 誰に対して経済的負担を感じているか。

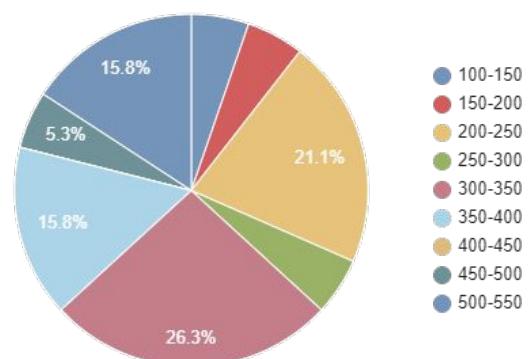


経済的負担は「子どもに対して」と答えるシングルマザーが最も多く、次に「自身に対して」と答えるもののが多かった。

## シングルマザーの月収



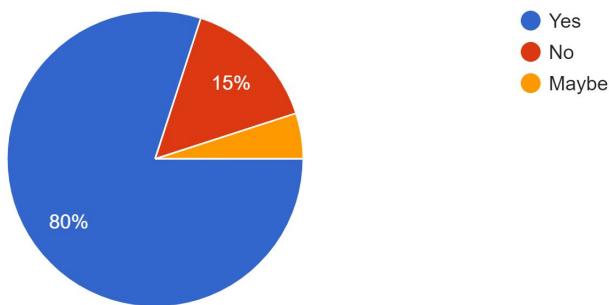
## シングルマザーの月収



## 《Step1》 2021年6月30日～8月20日 家庭訪問アンケート調査

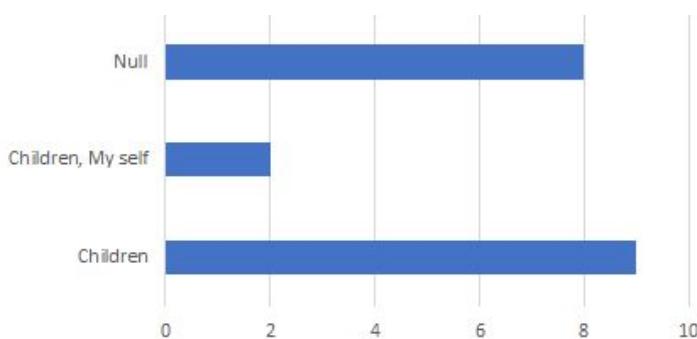
## 2. 精神的負担についての質問

## Q1. 現在精神的負担を感じているか。



シングルマザー3名を除き、全員が現在精神的負担があると回答した。

## Q2. 誰に対して精神的負担を感じているか。



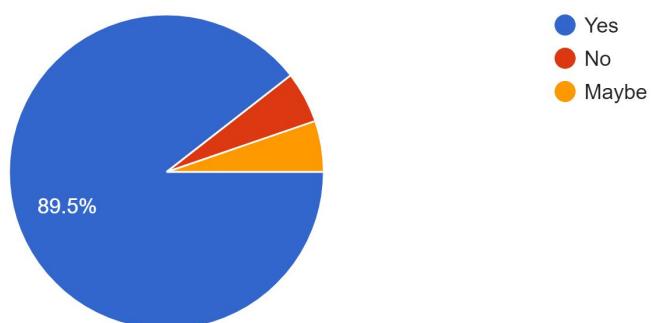
精神的負担を感じるのは「子供に対して」と回答するシングルマザーが最も多かった。「子供に対して」と回答したシングルマザーの子供の年齢を見ると「30代～」と回答しており、日本では一般的に自立しているとされる年齢層であることが分かった。実際に「自分の息子が仕事についていないのが心配」との回答もあった。(この回答者の息子の年齢は30歳・35歳)

## 具体的な内容

精神的負担の理由として、経済環境に関連するものが多い。経済的不安定さ→自分たちの生活や子供たちの学費を十分に抛出できない=精神的不安という相関関係がある。若い子供を持つシングルマザー(10代以下・10代)は、子供の教育費等の心配が多い。

## 3. カウンセリングについての質問

## Q. カウンセリングを受けたいと思うか。

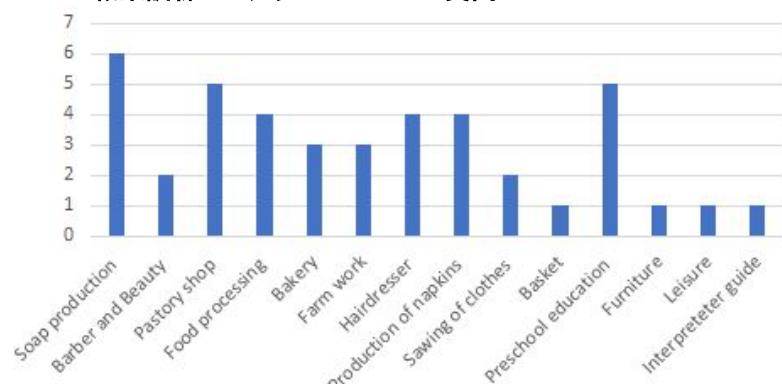


シングルマザー1名を除き全員が、「カウンセリングを無料で受ける機会があれば、参加したい」と回答。「参加しない」と答えたシングルマザーは精神的負担がないと回答している。  
→精神的負担を抱えているシングルマザーは全員がカウンセリングを望んでいる。

具体的に受けたいカウンセリングの内容を問う質問に対しては、「自分の精神的問題を解決するため」という回答が多い一方、「子供の育て方」や「自分のビジネスに関するもの」、「自分の職業選択に関するもの」が多かった。  
→シングルマザーによって、カウンセリングの有無の判断が必要。

子育てやビジネスの悩みに関しても、シングルマザー同士で相談できる環境を整えることで、解決に繋がるということ可能性としてはあるので、シングルマザー同士の横の交流を深めることが重要であると結論づけた。

## 4. 職業訓練プログラムについての質問



シングルマザーによって、職業訓練プログラムで行いたい訓練で、違いがあることが分かった。特に希望者が多いのは、「石鹼づくり」・「布ナプキン作り」・「美容」・「飲食」・「教育」の項目であった。

## 《Step2》

2021年9月4日  
第1回 VAM MTG  
会場:Elikemの学校  
(シングルマザー支援事業概要説明会)

日本からのZOOMミーティングを皮切りに、プロジェクト開始のテープカット、国際NGO ViVidとはどのような団体か(ビジョン、ViVidの5つの哲学、事業の特徴)を、現地事業担当者のElikemがパワーポイントで紹介し、事業開会式を実施しました。また、シングルマザーたちに今後のスケジュール、Step1家庭訪問アンケート調査結果も共有しました。

Step1の家庭訪問アンケート調査より、十分な英語力や統率力があると見受けられたシングルマザー(最終学歴が大学卒業の母親)も参加者の中に含まれていることが判明したため、シングルマザーを3つグループに分け、英語力の高い彼女達をリーダーにし、グループワークを実施しました。小グループの話し合いの中で、母親一人ひとりが抱えている課題について、他のシングルマザーに打ち明け、今後の具体的な精神的サポートや現段階で興味のある職業訓練について話し合いました。

その結果、経済的な負担はもちろん精神的な負担を感じているシングルマザーたちが多く、Step2の家庭訪問アンケート調査の結果にもあったように、無料のカウンセリングを望むシングルマザーたちが多いことが分かりました。この結果を踏まえ、Elikemとも話し合い、地域の牧師さんに依頼をしStep3の定期ミーティングの中で、無料カウンセリングを行うことに決定しました。

(参考)  
開会式セレモニーの様子



(参考)  
定期MTG後、シングルマザーが描いてくれたViVidの団体ロゴとViVidの「V」(ピース)で記念撮影する様子



時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:30-14:30	オープニング	オープニングセレモニーとViVid Ashiye Mothers結成式	Sion Bang / Elikem / Philo
		シングルマザーに対するアンケート調査の結果の共有と、「ViVidとは何か」についてパワーポイントを用いての説明	Elikem
14:30- 15:00	休憩	おやつタイム、交流会、自己紹介	Everybody
15:00-15:45	グループワーク	現在自分たちが抱える悩みを共有し、今後の精神的サポートと職業訓練について話合う	Elikem / Group leaders
15:45-16:00	話し合い	今後の曜日や時間について話し合い、決定	Elikem
16:00-16:30	写真撮影	集合写真や個別写真の撮影	Everybody
16:30-17:30	アンケート記入	—	Elikem

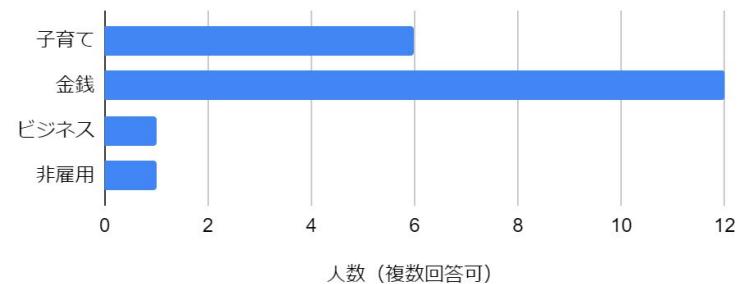
## 《Step2》 2021年9月4日 第1回VAM MTG

(参考)  
発言をするシングルマザーの様子



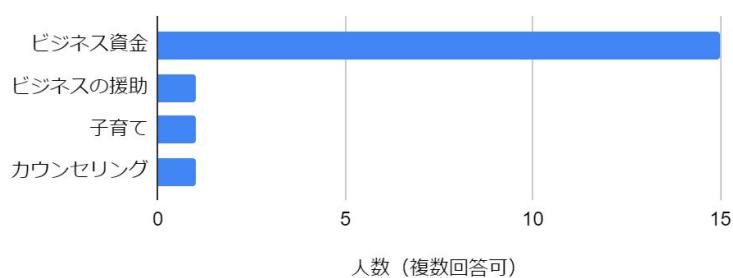
## 【アンケート調査結果】

## Q.1 精神的負担の原因とは？



金銭の問題と子育てが精神的負担になっている。

## Q.2 どのような支援を必要としているか？



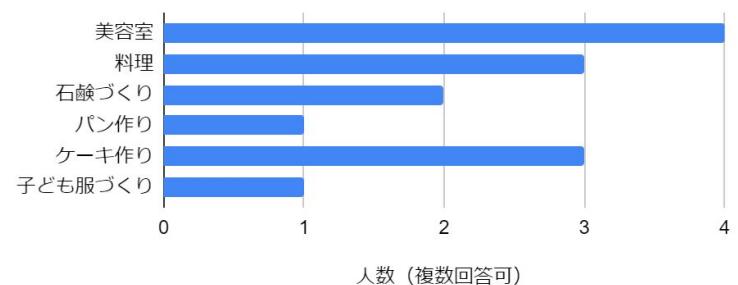
自分自身のビジネスのために店を開く資金が欲しいという声があり、そのための資金を求める声が多かった。  
カウンセリングといった精神的サポートより経済的な支援の希望が多い。



(参考)  
グループワークを行うシングルマザーの様子



## Q.3 どのような職業訓練を受けたいか？



具体的には、美容室、ケーキ屋さん、パン屋さん、服づくりを希望する声があった。

## 《Step3-1》

2021年10月9日  
第2回VAM MTG  
会場:Elikemの学校  
(グループワークでの悩み共有やカウンセリングの必要性の調査、今後のスケジュール把握)

第1回VAM MTGと同様に、ViViDの団体説明会のプレゼンテーションを行い、前回のMTGに参加できなかったシングルマザーたちのキャッチアップを行いました。

シングルマザーのネットワーキングの構築を図るために3つのグループに分かれてゲーム(パズルやルード)を行い、第1回VAM MTGで実施したグループワークの結果をシングルマザーに共有し、第2回VAM MTGのグループワークでは彼女たちが抱える問題と他のシングルマザーに共有し、グループでその解決策を考えました。

その後、今年度(2020年度:当事業Phase I)と来年度(2021年度:当事業Phase IIとPhase III)の事業全体のスケジュールを共有し、グループワークで、シングルマザーに事業内容について話し合ってもらいました。

Step1の家庭訪問アンケートの調査結果、およびStep2のシングルマザー支援事業概要説明会のグループワークの結果から、美容・飲食・服飾に興味・関心があるシングルマザーが多かったことを全体に共有しました。

また、グループワークではカウンセリングのニーズについてさらに詳しい調査を行いました。その調査、牧師からカウンセリングを求めるシングルマザーが一定数いる中、ソーシャルワーカーからのカウンセリングを希望する方、カウンセリングを希望しないシングルマザーもいることが分かりました。

(参考)  
当日のタイムテーブル(日本語)

(参考)  
各グループに分かれたグループワークの様子



時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:30-13:50	オープニング	前回のMTGを振り返り、ViViDのビジョンと今後の方向性についての話し合い	Elikem
13:50-14:10		前回参加できなかった人を対象に、ViViDと今後の事業内容についてパワーポイントを用いての説明	Elikem
14:10-15:10	グループワーク	第1回目のグループワークの復習、現在自分たちが抱える悩みを共有し、互いに解決策を提案	Everybody
15:10-16:00	ゲーム	3グループに分かれてゲーム(パズル、ルルド) 8シングルマザー同士の絆を深める目的)	Diana
16:00-16:30	おやつタイム	おやつタイム、交流会、自己紹介	Rosemary / Everybody
16:30-16:50	今後のスケジュール共有	今年度以降と来年度のプログラムの全体像を共有	Elikem
16:50-17:10	写真撮影	集合写真撮影、ネットワーキング、クロージングセレモニー	Everybody

## 《Step3-2》

2021年11月13日  
第3回VAM MTG  
会場:Elikemの学校  
(職業訓練に向けた準備開始カウンセリングの実施)



前回の第2回VAM MTGで実施したグループワークの結果をシングルマザー全体で確認しました。この第3回VAM MTGの主目的は、Phase IIより開始する職業訓練の準備です。具体的には、講師候補の紹介や各職業訓練プログラム候補の内容説明やPhase IIのスケジュールをシングルマザーに再共有しました。

グループワークでは、2つのグループに分かれ、プロジェクトの財務状況や資金調達の方法について共有しました。

また、今回は精神的問題を重く抱えているシングルマザーに対して、カウンセリングを実施しました。牧師とソーシャルワーカーをカウンセラーとして招きました。数人のシングルマザーがカウンセリングを受けている間、他のシングルマザーたちは、クラファンリターンに役立てるべく、絵を描きました。また、グループディスカッションを実施して、自身らの悩みの共有や子育ての方法、近隣住民との関係などについて話し合いました。

(参考)  
当日のタイムテーブル(日本語)

(参考)  
前回のグループワーク結果を確認するElikemの様子



時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:00- 13:15	スケジュールとグループワークの確認結果	<p>【前回の振り返り】            - 前回のグループワーク結果確認</p> <p>【職業訓練に向けた準備】            - 講師の紹介 (職業訓練)            - 各プログラム実施予定の内容の確認 (全体スケジュール共有)            - ビジネススキル研修概要説明 (カリキュラム共有)</p>	
13:15-13:45		<p>【今回のプロジェクトの説明・協力依頼】            - プロジェクトの財務状況            - ファンドレイジング、広報の方法のディスカッション</p>	
13:45-14:15	ペインティング	クラウドファンディングのリターンとなるpaintingを作成 →3グループごとにpainting、子供参加可能	
14:15-14:30	小休憩	—	
14:30-14:40	説明	Counselingの進め方説明	
14:40-16:40	カウンセリング/グループワーク	牧師：1-6番まで予約枠 (20分ラウンド×6)	Elikem
		ソーシャルワーカー：1-6番まで予約枠	
		シングルマザーのグループディスカッション (40分×3)： 以下のテーマで3グループに分かれて議論し、まとめを作成、発表 x3 ①お母さん同士のカウンセリング - 同じ悩みの共有 - 具体的な解決策の検討 ②地域住民とのネットワーキング - 具体的な解決策の検討 ③子供のケア - 具体的な解決策の検討	
16:40-17:10	休憩	—	
17:10-17:15	クロージング	アンケート記入	

《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

(参考)  
グループワークを行うシングルマザーの様子



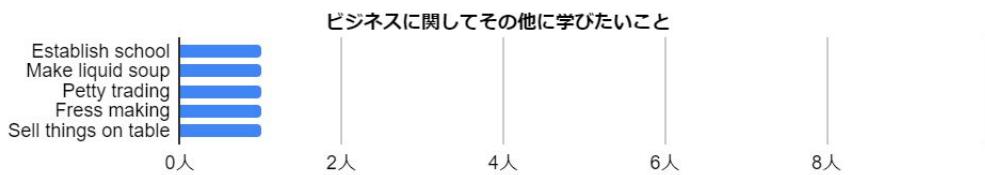
(参考)  
牧師やソーシャルワーカーからカウンセリングを受けるシングルマザーの様子



## 《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

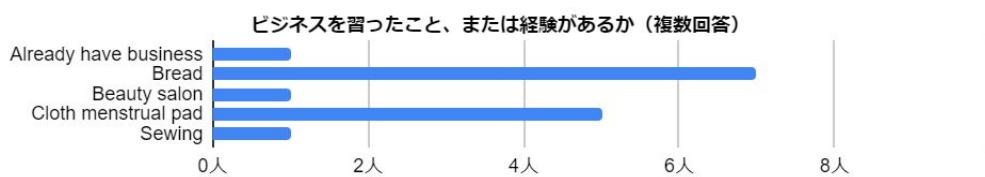
## 【シングルマザーへのアンケート調査結果】

## Q.1 ビジネスに関してその他に学びたいこと



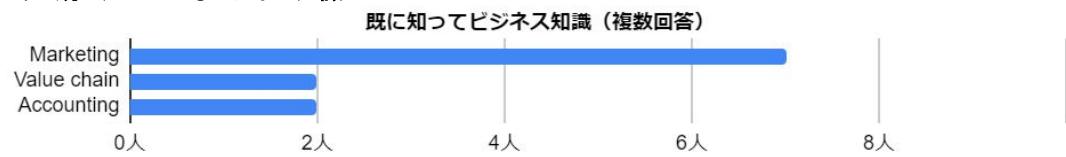
回答はお母さんによって様々である。

## Q.2 ビジネスを習ったこと、または経験があるか(複数回答有)



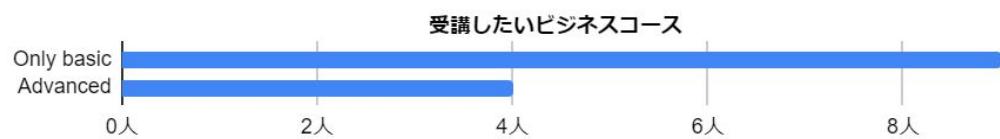
パン製造、布ナプキン製造においては習ったことがある、または経験があるお母さんが多い。他にも既にビジネスを始めている人もいることが分かる。

## Q.3 既に知っているビジネス知識



マーケティングについての知識があるお母さんが多い。

## Q.4 受講したいビジネスコース

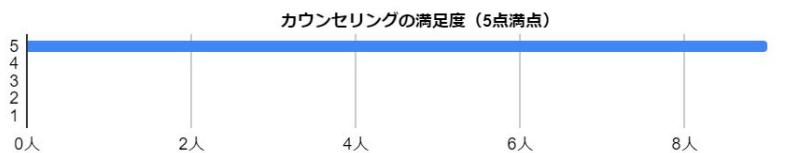


ベーシックを選ぶお母さんが多いが、アドバンスコースを選択するお母さんも複数いる。

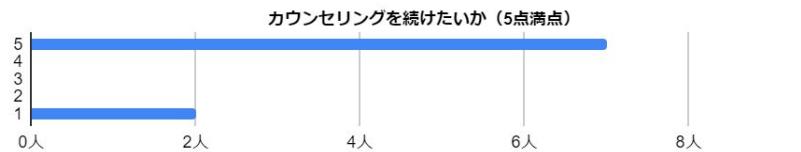
## 《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

## 【シングルマザーへのアンケート調査結果】

## Q.5 カウンセリングの満足度



## Q.6 カウンセリングを受けたいか。



カウンセリングの満足度は非常に高く、今後もカウンセリングを受けたいと答えたお母さんが多数を占めている。

## Q.7 誰にカウンセリングをしてもらいたいか。



牧師からカウンセリングを受けたいというお母さんが多い一方で、ソーシャルワーカーによるカウンセリングを受けたいお母さんも一定数いることが分かった。

## Q.8 職業訓練内容の満足度

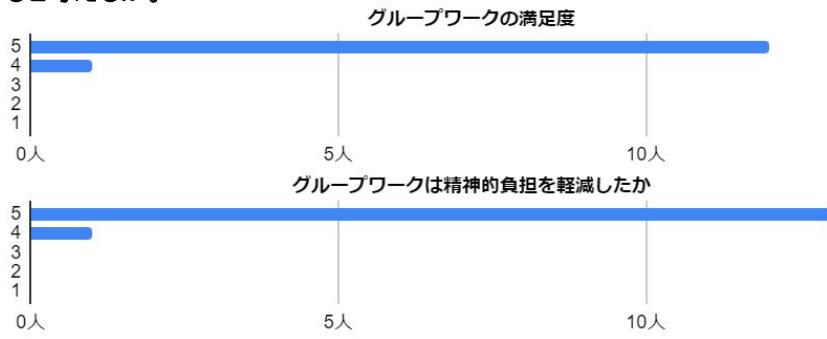


職業訓練内容に満足しているお母さんが多いことが分かる。

## 《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

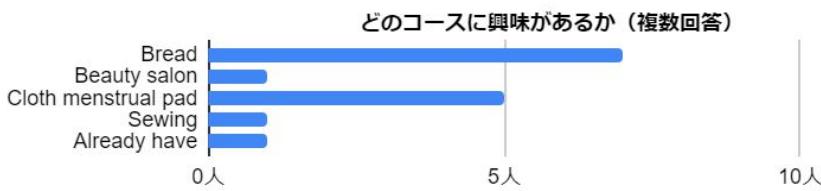
## 【シングルマザーへのアンケート調査結果】

Q.9 グループワークは満足か？グループワークにより精神的軽減に繋がると考えるか。



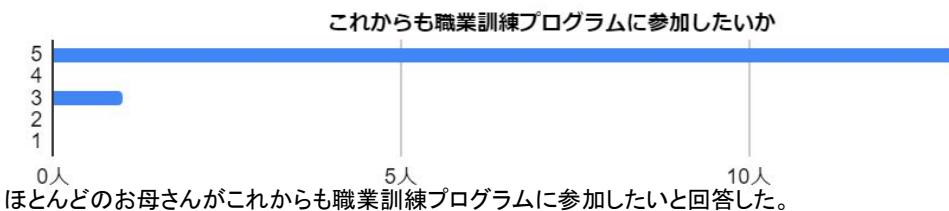
グループワークの満足度は全体的に高く、精神的負担を軽減したという回答が多くみられた。お母さんたちの精神的負担を軽減するために、グループワークを使用する事は有効だと考えられる。

Q.10 どの職業訓練コースに興味があるか。



パン製造プログラムと答えたお母さんが一番多く、次いで、布製造プログラムが多い。

Q.11 これからも職業訓練プログラムに参加したいか。



ほとんどのお母さんがこれからも職業訓練プログラムに参加したいと回答した。

## 《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

## 【カウンセリングでのアンケート調査結果】

## Q.1 何において精神的負担を抱えているか。

経済的問題、子どもの教育問題が精神的負担として答えるお母さんが多かったです。他にも、孤独感と答えるお母さんや、神への恐怖と答えるお母さんもいました。カウンセリングにおいては宗教的な事も考慮に入れて議論を進めていく必要がある。

## Q.2 精神的負担の原因

財政支援の不足や、離婚、病気など、精神的負担の原因はお母さんによって様々である。

## Q.3 今後のカウンセリングについて

お母さん全員が今後も継続してカウンセリングが必要だと診断された。中には、病院の診断が必要とされたお母さんや、子ども、家族と一緒にカウンセリングを受ける必要があると診断されたお母さんもいました。

## 【グループワーク1でのアンケート調査結果】

## Q. 資金調達をするために何をすればよいか。

全てのグループが、周りの人に支援をお願いすればよいのではないかと回答した。他にも、協会(牧師)からのサポートや、お客様にサポートを求めればよいのではという声もあった。

第3回定期MTG(1/13)シングルマザー講習会 Group work1 アンケート結果まとめ	
グループ	アイデア
Group1 Fundraising	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの人にVIDIについて話しサポートをお願いする</li> <li>・協会からのサポート</li> <li>・susu sewing(ススキの縫製)が助けてくれる</li> <li>・裕福で親切な人からのサポート</li> </ul>
Group2 Public relations	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かにサポートをお願いする</li> <li>・お客様に手伝ってもらえるようお願いする</li> <li>・牧師にお願いする</li> </ul>
Group3 Public relations	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスで優秀な人を知っていれば、その人に連絡を取って弟子にしてもらう</li> <li>・ビジネスをしている人に声をかけ、現物や現金で支援してもらう</li> <li>・Makolaマーケットで売り子をしている妹のためBrownから用意し、収入を得られるようにする</li> <li>・自分たちで家を渡り歩きものを売りながらVIDIについて話す</li> </ul>

## 《Step3-2》 2021年11月13日 第3回VAM MTG

## 【グループワーク2でのアンケート調査結果】

子ども、金銭、仕事の悩みが多い。

地域や近隣の人々とは、良い関係を築いている人が多いが、中にはあまり周りに人がないというケースもある。

VAMミーティング中に子どもを預かる仕組みのニーズが高い。

Group	Q1.現在抱えている悩みや負担	Q2,Q1の共通点	Q3,Q1の解決策	Q4.地域や近隣の人々との関係	Q5.地域からどのような支援を受けたいか？	Q6.シングルマザー事業で地域の方々を巻き込むにはどうしたらいいか？	Q7.日常生活で子どもとの関わりで困っていること	Q8.定例会議中の育児の負担はあるか	Q9,Q8の解決策
Group 1	子育てのためにビジネスを始めるお金が必要	ビジネスを始める必要があるし、子育てのためのお金が必要。	ViViDのことを話し、サポートをお願いする。	友達・家族みたいな関係	乾燥機を購入し、ビジネスを始める資金を援助してもらいたい。	友達になりプロジェクトのことを伝え参加してもらいたい。	話をする事	誰に預けるか	ご飯を置いてからくる
	寝る場所も仕事場も負担になっている			みんな素敵			悪い子には離れなさいと伝えている	あまり知らない人に子供を預けたりしている	お小遣いを渡す
	仕事と子供			家族みたい			いつも言う事を聞くように言い聞かせている	預ける人がいないときは困る	ゲームを用意して遊ばせる
	仕事が欲しい。子育ての仕方			みんなと話す。家族みたい			友達全てに敬意を持つよう伝えている。	友達に預けるとみんなが迎えに来てくれる	ゲームを用意して遊ばせる
	子供と仕事のためのお金が必要						子供たちは私を困らせるから、尊敬する事を学びなさいと言っている。	誰が子守をするのか	ゲームを用意して遊ばせる
Group 2	あまりない	心配事は軽減された	1)お互いの専門性を共有する。2)愛を示し合うこと。3)困っているときに手を貸し合うこと。	あまりいない	受けたくない		沢山ある	ない。	家にいてもらう
	あまりない			ほとんど家にいる	受けたくない		ない。	ない。	一緒に連れてくる
	もう悩まない			とても良い	子供たちが遊べるコミュニティセンター		ない。	ない。	信頼できる仲間に預ける。
	もう悩まない			あまりいない	子供たちのための図書館		ある。	ない。	ひとりで留守番が出来る
	あまりない						ある。	ある。	一緒に連れてくる
Group 3	まだビジネスをスタートできない事	財政面において困っている	ビジネスを拡大させるために経済的支援を受ける	とても良い関係	姉妹を呼んで学ぶ	地域で母の日があるのにシングルマザーは隣人と楽しむことが出来る	話しかけても聞こうとしない	ない。	家で落ち着いて過ごすよう言っている
	収入が少ない事		周りの裕福な人に助けを求める	序列関係(ordinal relation)	子供はもちろん年配の方もくつろげる場所があつたらしい	福祉の問題を話し合うために頻繁にMTGを開く必要がある	指示を聞いてくれない	友達に預けている。	悪い友達にはついていくなと言っている。
	子供の教育費		どんな小さなことでも他の人と共有する	良い関係		子供の世話をしてくれるコミュニティーにいる友達がいる	子供の面倒を見るには十分な手立てがある	もう子供が大きいから問題ない。	家で出来る仕事をさせている。

## 《Step4-1》

2021年1月15日  
第4回VAM MTG  
会場:Elikemの学校  
(職業訓練プログラム説明会および体験会part1  
講師によるキャリア体験講談会)

まず、Elikemからこの事業についての説明が再度行われ、参加者のモチベーションを高めました。

今回は、外部から講師4名を招き、4月から開始予定の職業訓練の体験会を主に実施しました。講師が自身の仕事内容やその仕事に就いたきっかけ、1日の活動内容、仕事へのやりがいや苦労についての講演会がなされ、シングルマザー達からの質疑応答も行われました。

パン製造職業体験プログラムでは、今後パンを焼くための石窯の製造が行われました。レンガを用いた石窯は、YouTube上の動画を参考にしたもので、YouTubeで石窯作成動画を投稿している日本人男性のご協力のもと、現地へ作り方を共有することができました。材料が不足していたため、完成は次回へと持ち越しとなりました。

ファッション職業体験プログラムでは、ランチョンマットを作成しました。完成しなかった参加者は次回で完成を目指すこととなりました。講師のAkosuaは、シングルマザーたちに椅子の背もたれをプレゼントしてくれました。

最後に、アンケートへの回答、記念撮影でミーティングを締めくくりました。今回は、シングルマザーたちに同行している子どもたちにもアンケート調査を行いました。

## (参考)

Akosuaからの贈り物と記念撮影を行うシングルマザーの様子



## (参考)

Elikemの話聞くシングルマザーの様子



## (参考)

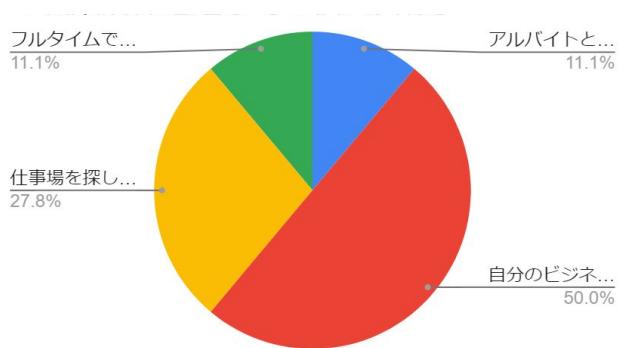
当日のタイムテーブル(日本語)

時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:00-13:30	事業目的の確認	事業目的確認、VAMの運営方針	Elikem
13:30-14:30	講師自己紹介/体験談	①自己紹介 ・職業・出身など ・現在の職場でのポジション ②仕事内容 ・概要 ・その職業始めたきっかけ ・1日の活動内容 ・職業訓練を始めるに当たり必要な準備、心構え ③仕事で大変なこと、良かったこと/やりがい等 ④質疑応答 ⑤シングルマザーに対する次回まで(2/12)の課題	Elikem / 講師
14:30-17:00	パン製造職業体験プログラム	石窯作り	
	ファッション職業体験プログラム	スカートを作る	Akosua, Grace Awuni
17:00-17:30	アンケート記入	—	Elikem
17:30-17:40	クロージング	閉会式、VAM全体写真撮影	Elikem

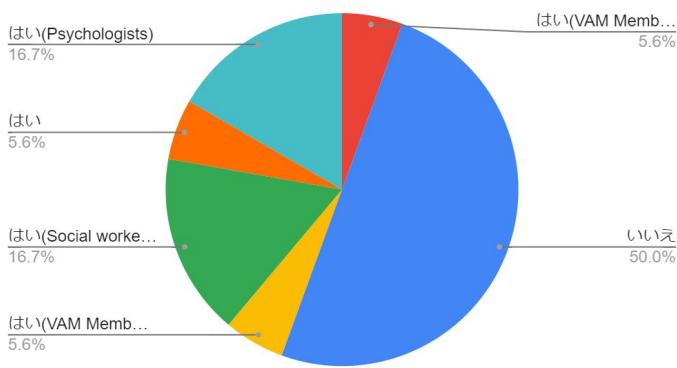
## 《Step4-1》 2021年1月15日 第4回VAM MTG

## 【グループワークでのアンケート結果】

## Q.1 職業訓練を通しての個人目標はなにか

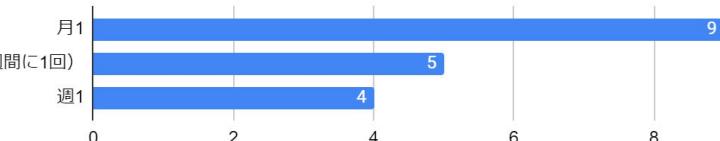


雇用される働き方がしたいシングルマザーと自分のビジネスを持ちたいシングルマザーの割合は半分である。

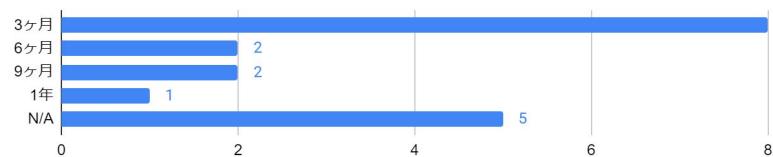
Q.2 カウンセリングは必要か。  
必要ならば誰から受けたいか。

カウンセリングを必要とするシングルマザーもそうでないシングルマザーも同等数いることが読み取れる。カウンセリングを受けるとしたら、ソーシャルワーカーや臨床心理士から受けることを望む声が多い。

## Q.3 職業訓練をどのくらいの頻度で受けたいか。

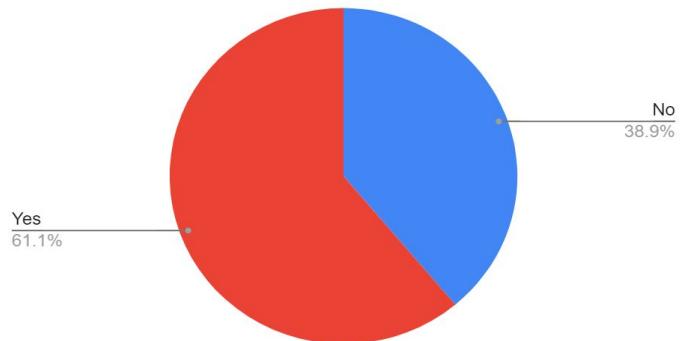


## Q.4 職業訓練をどのくらいの期間受けたいか。

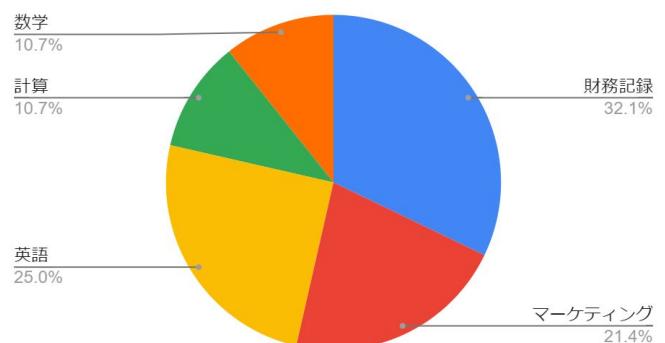


職業訓練を受ける頻度に関しては、月に1回が良いという回答が一番多かった。職業訓練の長さについては特に希望のない人や長期的に受けたいと思う人が多数派だが、3ヶ月程度を希望する人も同等数いる。

## Q.5 ビジネスを学んだことがあるか。



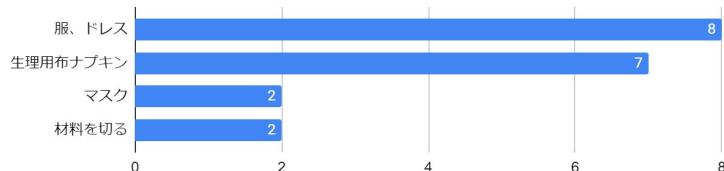
## Q.6 Phase II で予定しているビジネス講習会では、どんなことを学びたいか。



財務記録に必要なスキルへのニーズが高い。また、英語やマーケティングといった、スキルについても需要が見込まれる。

## 《Step4-1》 2021年1月15日 第4回VAM MTG

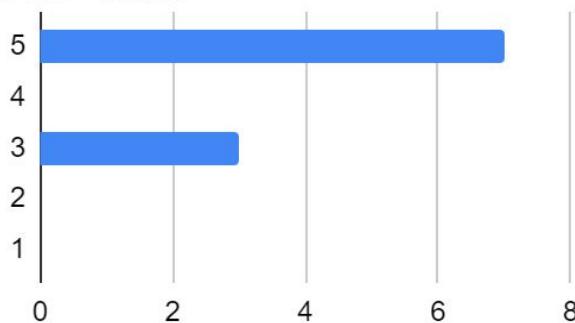
Q.7 ファッション部門では、具体的にどのような製品を作りたいか。



服、ドレスと生理用布ナプキンが多数を占める。

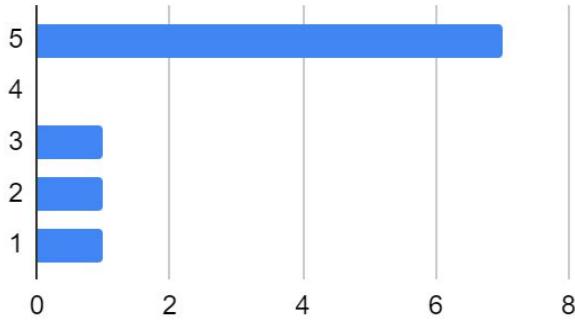
Q.8 パン製造の職業訓練をしたいか。

パン製造の職業訓練をしたいか



Q.9 ファッションの職業訓練をしたいか。

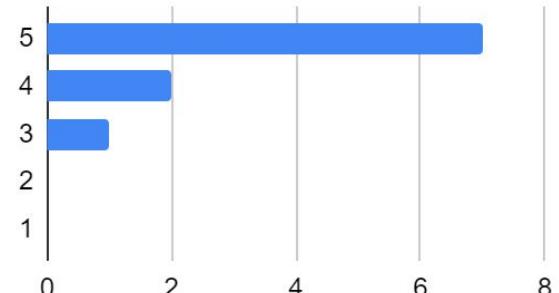
ファッションの職業訓練をしたいか



ファッション、パン製造共に関心度は高い。

Q.10 職業訓練が終わった後VAMのメンバーになりたいか。

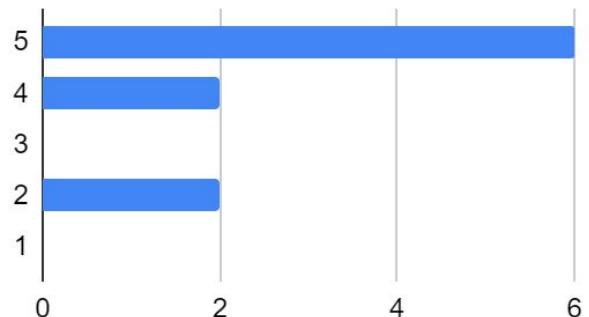
職業訓練が終わった後VAMのメンバーになりたいか



職業訓練が終わった後VAMのメンバーになりたいかという質問については大多数が肯定的だが、グループワークのアンケートを参照すると、ViViDと仕事をするという意味ではなく、VAMに所属し、コミュニティでの関わりを持っていきたいという意味であると推察できる。

Q.9 今後、VAMの子どもたちに合唱団を作る事に賛成か。

今後、VAMの子どもたちの合唱団を作ることに賛成か



め、子どもたちの活動については議論が必要だと考えられる。

### 【子供へのアンケート結果】

合唱団へ入りたいか、何を歌いたいか、他にしたいこと、普段友達と何をして遊んでいるか等を尋ねた

歌うことには否定的ではないものの、普段のように友達と遊びたいという気持ちがある。ボードゲームやシーソーや体を動かす遊びをしたいという好奇心もあるため、作ったボードゲームで遊んでみたり、日本で親しまれている遊びを教えてみるのも良いかもしれない。

## 《Step4-1》 2021年1月15日 第4回VAM MTG

## 【講師へのアンケート調査結果】

## Q.1 講師を続けたいか

この問い合わせにはすべての講師が講師を続けたいと答えた。

## Q.2 参加後感じたこと(一部抜粋)

- ・良かった。ただ、VAMが成長するためにはあと一步必要であると思う。
- ・とてもよかったです。

## Q.3 「アシエ地区のシングルマザーのエンパワーメントを！」という目標についてどう思うか

- ・VAMの女性たちが、自分自身と家族を支えるための新しいスキルを身につけることができると思う。
- ・自分たちで取り組むことができるようになると思う。
- ・「アシエのシングルマザーにエンパワーメントを」という目標に対して良い印象を持ってくれている講師が多いことが分かった。

## Q.4 コメントやアドバイス

1日のアクティビティが多すぎると感じた。1日2つのアクティビティで十分だと思う。プロジェクトを買えば、授業や学習が非常に効果的になると思う。

コメントを受けて、よりシンプルで分かりやすいプログラムになるようスケジュールについて議論する必要がある。また、より効率的にプログラムを進めるためにプロジェクトの購入も検討する。

(参考)  
職業体験プログラムで用いたミシン(参考)  
子供にアンケートを渡すElikemの様子(参考)  
発言するシングルマザーの様子

## 《Step4-2》

2021年2月12日  
**第5回VAM MTG**  
**会場:Elikemの学校**  
**(職業訓練プログラム説明会および体験会part2**  
**phase I の総括会)**

今回のミーティングも第4回と同様に外部の講師を招き職業体験プログラムが行われました。冒頭で、Elikemから前回までの復習やスケジュールの確認がなされました。

パン製造職業体験プログラムでは、Elikemの息子やシングルマザーの子どもたちの協力のもと、ついに石窯が完成しました。完成後、シングルマザーたちは、バター、紅茶、砂糖が材料のパンの焼き方を学びました。小麦粉とマーガリン、塩、砂糖、ナツメグなどの混ぜ方、全てを徹底的に教わった後、窯に火をつけて、午前中にElikemとその息子が準備してくれていた原料を用いてパンを実際に焼き、焼き立てのパンを試食しました。ファッショング職業体験プログラムでは、前回のMTGで縫うことが叶わなかったシングルマザーたちが、ランチョンマットを仕上げました。

職業体験後はグループワークを行い、今後の計画についての確認や、自身の職業のビジネスモデルの理解を進めました。その際、現状の問題と今後の課題・目標について述べた動画を撮影してもらいました。

また、今回から、シングルマザーとともにVAM MTGに参加している子どもたち対象のプログラムも作成しました。参加している年齢層が様々なので、その内容も多様な年齢に対応できるものに工夫しました。最後に、シングルマザーを対象にしたアンケートに加え、子どもたちを対象にしたアンケートも行いました。

(参考)  
**ミシンを使って作り方を教える講師(Grace)**



## 【お母さん対象】

時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:00-13:30	Opening	これまでの流れなどの復習 今日のスケジュール（お母さん&子供）（最後に今後の個人と全体目標を立てることを告知）	Elikem
13:30-17:00	パン製造職業体験プログラム	石窯の続き～完成・パン作り	Elikem / Caroline Sam
	ファッショング職業体験プログラム	第4回定期MTGの続き（終わっていない人）作り終わったものは持ち帰りOK	Grace Awuni
17:00-17:30	グループワーク	各グループごとに今後の計画確認・策定 自身の職業のビジネスモデルの理解 目標決め：一人ひとりの動画を作成（現状の問題と目標）	Elikem / 講師
	アンケート記入	—	Elikem
17:30-17:40	クロージング	閉会式、写真撮影（親子合同） (次回から子供の宿題を持ってきてもらうように伝える)	Elikem

## 【子ども対象】

時刻	プログラム内容	プログラム詳細	現地担当者
13:00-13:30	Opening	お母さんたちのプログラムの簡単な説明と今日の流れを共有	Akosua
13:30-15:30	石窯作りの手伝い	かまどが完成したら一緒にピザを焼いて食べる	Elikem
	勉強	持ってきた宿題をする	
	遊び	お絵描き	
15:30-16:30	腕相撲大会	—	
16:30-17:30	アンケート記入	—	
17:30-17:40	クロージング	閉会式、写真撮影（親子合同）	Elikem

《Step4-2》 2021年2月12日 第5回VAM MTG

(参考)

参加者に呼びかけるElikemの様子



(参考)

子どもたちの様子



(参考)

石窯を温めるシングルマザーの様子



(参考)

石窯で焼いたパンを食べるシングルマザーの様子



(参考)

グループワークを行う様子

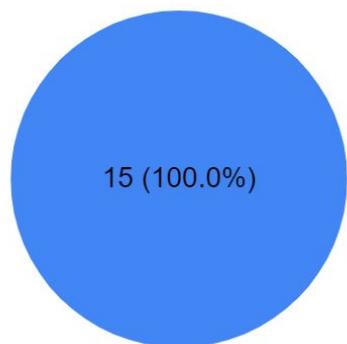


## 《Step4-2》 2021年2月12日 第5回VAM MTG

## 【グループワークでのアンケート調査結果】

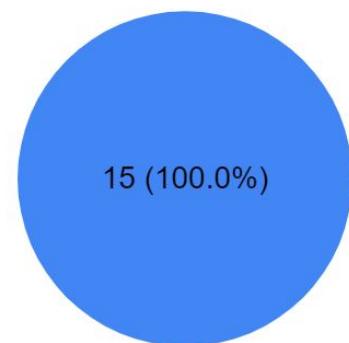
## Q.1 MTGは楽しかったか。

MTGは楽しかったか



## Q.4 次のMTGに参加したいか。

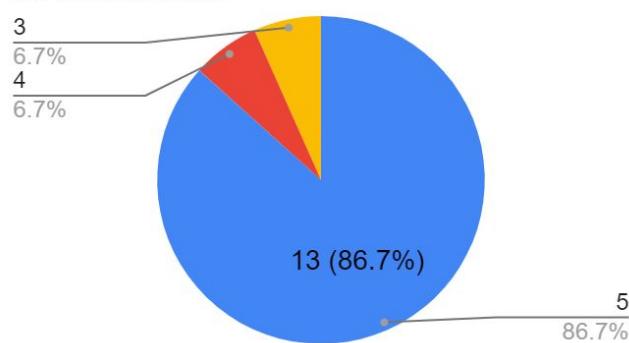
次のMTGに参加したいか



ミーティングを楽しんで参加する事ができ、有益な事を学ぶことが出来たお母さんが多数を占めている。コメントには、このプログラムが続いてほしい、良いプログラムだというようなポジティブなコメントが多くみられた。

## Q.2 何か有益な事を学んだか。

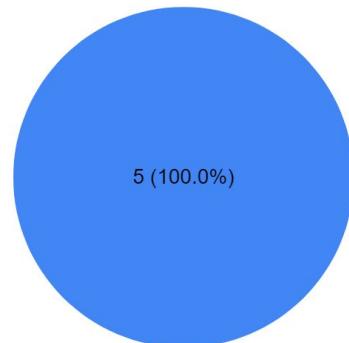
何か有益な事を学んだか



## 【子供へのアンケート結果】

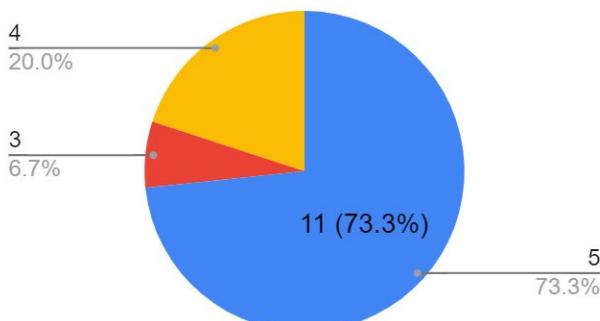
## Q.1 今日は楽しかったか。

「今日は楽しかったか」



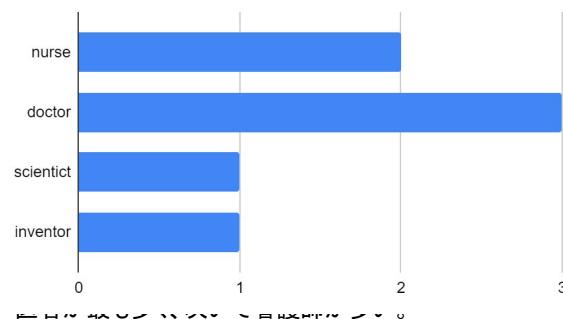
## Q.3 インストラクターの説明はわかりやすかったか。

インストラクターの説明はわかりやすかったか



## Q.2 将来の夢は何か。

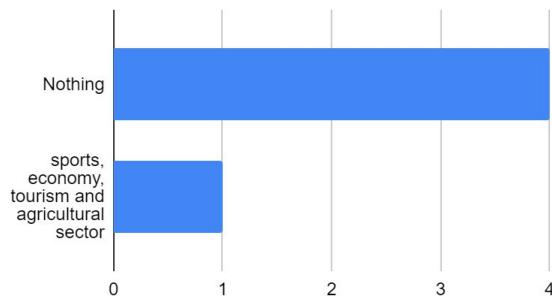
「将来の夢は何か」 (複数回答有)



## 《Step4-2》 2021年2月12日 第5回VAM MTG

## Q.3 ガーナの変えたいところは何か。

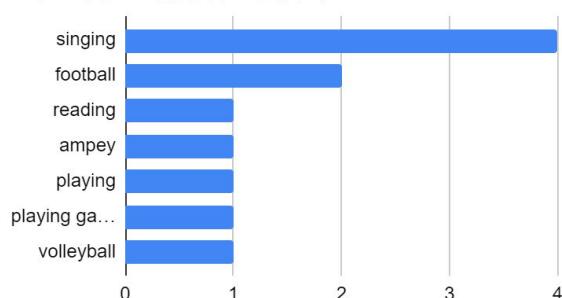
「Ghanaの変えたいところは？」



1人の子ども以外はガーナの変えたいところは何もないと答えた。

## Q.4 趣味は何か。(複数回答有)

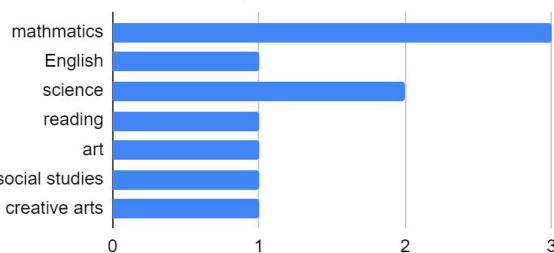
「趣味」 (複数回答有)



歌う事が一番多かった。また、サッカーやバレーボールなど体を動かす遊びが好きな子供もいるため、これらを考慮しながら今後の子どもたちの活動を定めていく。

## Q.5 好きな教科は何か。(複数回答有)

「好きな教科は」 (複数回答有)



「好きな教科は」のカウント数

数学、理科が好きな子どもが多少多いが、英語、美術など幅広い回答が得られた。

## 【講師からのアンケート調査結果】

## Q.1 MTGは楽しかったか。

この問い合わせに対しては、講師全員が楽しかったと答えた。講師が書いてくれたコメントには、素晴らしい、とても楽しかったという声がつづられていた。

## Q.2 職業訓練プログラムはうまくいくと思うか。

この問い合わせに対しても、講師全員が上手くいくと答えた。コメントには良いプログラムであると書かれている一方で、職業訓練が終了した後の事についてより具体的に教えてほしいという声があった。Phase2からはより具体的なプログラムを伝え、職業訓練終了後どのような形態を目指すのが議論する必要がある。

## 【Elikemからのコメント】

とても楽しい時間でした。このプログラムは成功すると思うし、継続させていきたいです。そして、ターゲットコミュニティをAshiyieだけではなくて、Nanakomという地域にも作りたいと思っています。Phase IIは、実際にビジネスを始めましょう！ベーカリーを作りたい人には、スタートアップのための融資が必要になってくると考えます。

## シングルルマザーにプログラムの説明をするElikem



# IV. 総括と展望

## 1. 当事業の目的別の総括と今後の展望

### (1). ネットワーキング構築

#### ① シングルマザー同士

毎回のミーティングにおけるグループワークを通しての協働や、互いの悩みの共有、共感は、シングルマザー同士のネットワーキングの構築を助けたと考えられます。また、コミュニティ内において、同じ境遇にある他者との交流は、精神的な孤独の払拭に繋がると考えます。

#### ② シングルマザーとコミュニティ住民

Phase Iにおいては、Elikemを除く地域住民を当事業に巻き込むことはできませんでした。しかし、第3回VAM MTGのアンケート調査では、シングルマザーたちが「母の日」やコミュニティの知り合いの紹介を提案してくれています。彼女たちのアイディアを存分に生かし、Phase IIでは、彼女たち自身に企画を任せて、近隣住民を巻き込んだ事業を計画していきたいと考えています。また、地域住民を招いた「パンの試食会」開催や、シングルマザーたちの子どもたちのキャリア支援のためのキャリア講談会を開催し、その講師として協力してもらうことなどの提案もしたいと考えています。

#### (2) カウンセリング

2021年6月から8月にかけての家庭訪問調査時に、カウンセリングのニーズ調査を実施し、希望者には、2021年11月の第3回VAM MTGにおいて、牧師とソーシャルワーカーを招きカウンセリングを実施しました。カウンセリング時には、担当者一人ひとりにカウンセリングシートを作成してもらいました。カウンセリングを受けたシングルマザーたちには、満足度や今後の希望に関してアンケートを行いました。これらの取り組みを通して、継続的かつ効果的なカウンセリングの実施を目指しています。

Phase IIでは、希望者に対して、月に1回のカウンセリングの場を設けることを予定しています。担当者に関しては、VAMのシングルマザー、ソーシャルワーカー、心理カウンセラー、精神科医を想定しています。また、第3回VAM MTGにて牧師によるカウンセリングを実施した際には、「子どもと共にカウンセリングを受ける必要がある」との診断を受けたシングルマザーもいたため、必要な場合には子どもと一緒にカウンセリングを受けてもらうことを予定しています。

#### (3) 子ども支援

##### ① 子ども向けプログラム

MTGを実施するにつれて、子どもたちも4、5人、シングルマザーと共に参加していることが分かりました。幼い子どもを持つVAMのメンバーの出席率向上を量るため、第4回VAM MTGでアンケート調査を行い、第5回VAM MTGからは、シングルマザーたちがプログラムを実施中に、子どもたちへのプログラムも実施しました。第5回は遊びを中心に活動を行い、腕相撲大会をしたり、絵を書いてもらいました。

Phase IIからは、集団としての結束力を高め、MTGの時間をより有効活用できるようプログラムを実施していく予定です。就学年齢以上と以下で年齢別に実施するものと、合同で行うものの両方を計画しています。また、日本とzoomで繋ぎ、日本の子どもたちとの交流も計画しています。

#### ② 子育て支援

家庭訪問調査や第1回VAM MTG時のアンケート調査から、多くのシングルマザーたちが、子どもや子育てに関することで悩みや精神的負担を抱いていることが、明らかになりました。また、第3回VAM MTG時のアンケート調査では、具体的にどのような悩みを抱いているのかが明らかになりました。

Phase IIでは、「いやいや期」、「反抗期」への対応方法や、子どもとの上手なコミュニケーションの取り方について、グループワークで調べ物をしたり、VAMに属する子育てを卒業したマザーや、先輩マザーからの知恵や情報の提供の場を設けることを計画しています。また、彼女たちが外出する際に子どものみが在宅することも多いというアンケート結果から、危険予測や対応に関して、日本からの情報提供や、上記同様にVAM内での情報交換の場も設けたいと考えています。このような、シングルマザー間の連携は、彼女たちのネットワーキングの強化にも繋がると考えています。

## 2.2 経済的サポート

### (1) 職業訓練

#### ① 全般

第1回、第2回VAM MTGでは、第3回VAM MTGでは、講師の紹介や職業訓練プログラムの概要説明を行いました。第4回VAM MTGでは、実際に講師を招き、彼らの仕事内容ややりがいなどを話してもらいました。また、第4回、第5回VAM MTGでは、Phase IIから開始する職業訓練プログラムの体験会も開催し、実際にプログラムを経験することで、Phase II以降の各自の目標やビジョンがより鮮明になったと考えています。

#### ② パン製造

第4回、第5回VAM MTGの職業体験会では、石窯を製造し、実際にその釜を利用してパンを焼き、試食しました。自分たちの働きにより完成したパンは、今後の職業訓練へのモチベーションとなったことと期待しています。

Phase IIでは、引き続きCaroline Samさんに講師をお願いし、より実践的な職業として生かすことのできる技術を身につけるべく、本格的に職業訓練を行なう予定です。また、講師に関しては、Caroline Samさんと相談して増員することも考えています。技術面に加えて、材料の調達から販売までの流れの理解を深めることも目標としています。

### ③ ファッション

第4回、第5回VAM MTGの職業体験会では、3人の講師を招き、ミシンを用いてスカートの作成を行いました。ミシンの数が足りず、1回のミーティングで体験できる人数が限られてしまったことが反省点として挙げられます。

Phase IIでは、ミシンの数を増やし、全員が毎ミーティングで実際に布製品制作する環境を作りたいと考えています。講師としては、Diana Jessiさん、Grace Awuniさん、Akousa Asantewaaさんに引き続き依頼する予定です。

#### (2)ビジネス講習

家庭訪問調査により、シングルマザーたちの就学歴は、「小学校卒28.6%、小学校中退21.4%、中学校卒21.4%、高校卒14.3%、大学卒14.3%」と非常に様々であることが分かりました。また、第4回VAM MTGのアンケート調査では、学びたい内容の分布が明らかになりました。

Phase IIでは、希望の多かった、「財務記録」、「マーケティング」、「英語」、「計算、数学」を学ぶ場を計画しています。講師は、外部に委託するのではなく、VAMメンバーのシングルマザーの息子が務める予定です。Phase II修了後、Phase IIIにおいて、身についた技術を生かして彼女たち自身でビジネスに携わっていくため、知識とスキルを身につけることを目指します。また、先日した通り、就学歴は様々であるため、BasicとAdvancedにチーム分けを行い、別々に学ぶ時間と、AdvancedのメンバーがBasicのメンバーと共に復習する時間を設けることで、シングルマザー間の結束を高めることも期待しています。

## 2 ViVidの3つの掛け算からみる総括

### (1) Inclusion

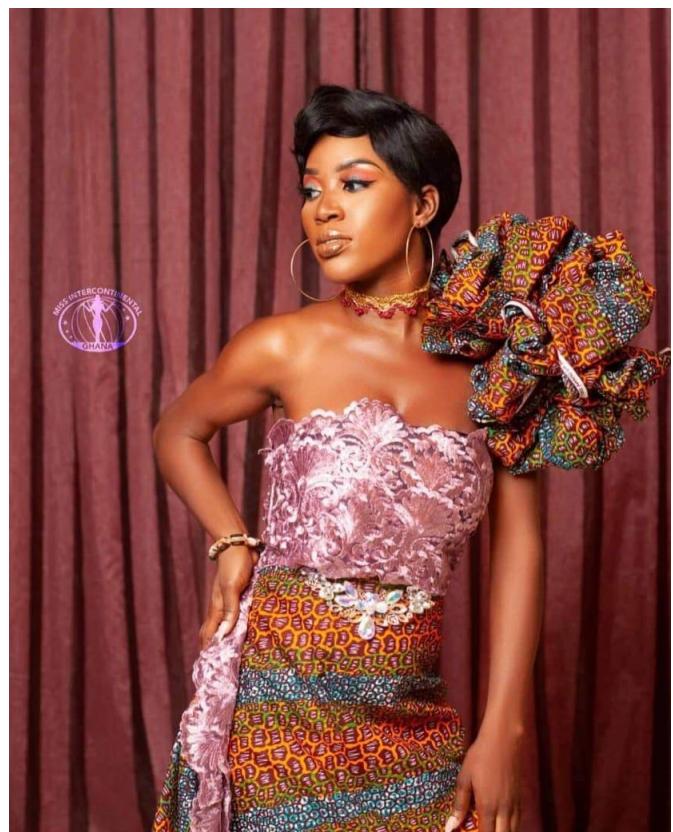
#### ① Inclusion1(脆弱な立場にある住民を含めた全ての住民を包含すること)

当事業では、経済的、精神的負担を抱えたアシエ地区のシングルマザーを含むアシエ地区の全ての住民のエンパワーメントを目指しています。Phase Iでは、主にその対象はシングルマザーやその子どもたちに限られていましたが、Phase IIでは、地域住民もより積極的に巻き込むことを目指しています。

#### ② Inclusion2(コミュニティメンバーを開発プレイヤーに含めること)

現地事業担当者のElikemが、日本人担当者と連携し全てのミーティングを開催してくれました。ミーティング準備期間には、シングルマザーたちへの連絡や、アンケートの印刷、材料の調達、講師の紹介や仲介をしてくれました。開催後には、アンケート結果や写真、ビデオの共有、フィードバックを行ってくれました。

また、ファッション部門の職業訓練の講師として活躍してくれたAkousa Asantewaaは、ViVidのセイチエレ村でのナプキン事業にもViVidスタッフとして携わってくれています。彼女は、ViVidメンバーがセイチエレ村にてアンケート調査を行った際に出会ったテイラードです。彼女は、去年12月に行われたMiss Intercontinental Ghana 2021のグランドファイナルに出場しレッドカーペットを歩きました。結果は、1位には届かなかったものの3位入賞という結果を収めました。彼女自身、セイチエレ村の学校を中退した学生を対象とした職業訓練校の設立を目指し、活動しています。



#### ③ Inclusion3(多種多様なステークホルダーを巻きこむこと)

第5回VAM MTGで完成した石窯の作成には、YouTubeに動画を投稿されている小林直樹さんがご協力下さいました。現地で入手できる材料で製造する方法に関してアドバイスを下さったり、石窯を用いたパンやピザの焼き方を詳細に教えて下さいました。また、我々が石窯を3段にするか検討していた際には、ご自身の石窯を2段から3段に改造し、ピザを焼く動画を撮影し投稿して下さいました。

(参考リンク)

<https://youtu.be/JMWdiTne-S8>

現地におけるパン屋の実情に関しては、ガーナ共和国クマシにおいてパン屋をされている石本満生さんからお話を伺いました。石本さんがクマシでパン屋を始めた理由から、材料の調達方法まで、そのお話は多岐に渡りました。Phase I, II ではもちろんのこと、シングルマザーたちが実際にビジネスを行うPhase IIIを計画する際、石本さんから頂いたサポートにとても助けられています。

職業訓練プログラムの種類を検討する際、その候補であった「美容」に関して、ガーナ共和国アクラで美容師をされている上田ともみさんにお話を伺いました。現地での免許制度や客層、ガーナ在住の日本人の髪の悩みなど、実際に経験されている方だからこそこの貴重なお話を下さりました。また、アクラにおけるパン事情もお話を下さりました。現地で好まれる種類や値段など、職業訓練のパン製作部門に関する計画により具体性を持たせることができました。

## (2) Partiasion

日本人担当者や現地担当者ではなく、シングルマザーたち自身が目的を理解し、積極的かつ主体的に事業の計画や運営を進める事業を目指すため、複数回のミーティングで繰り返しViViDの団体説明やこの事業の概要、目的、スケジュールを共有しました。また、シングルマザーたちが自ら名付けた「ViViD Ashiyie Mothers (VAM)」というチームは、彼女たちにより運営することを目指しています。Phase II からは、総務、法務、財務、広報の担当者を置き、より主体的な組織運営に携わってもらおうと考えています。

## (3) Partnership

Phase I では、現地担当者をはじめ、職業体験プログラムの講師やカウンセリングを担当した牧師、ソーシャルワーカー、専門的な知識をご教授下さった小林さん、石本さん、上田さん、そして活動資金を提供して下さった一般財団法人 大竹財団様など、様々な方々からのご協力のもと、事業を実施することができました。

Phase II 以降に関しても、引き続きより多くの方々の力をお借りして、より魅力的な実効性の高いプロジェクトを推進していきたいと考えています。

## 3. 現地担当者 Elikemによる総括

In all the first phase was great we learnt a lot; I was not expecting the mothers to learn so fast considering their educational background, this is an indication that they are serious. The counselling they went through to keep their mind at peace also helped them, in addition to networking among ourselves. I can therefore say that all the principles of ViViD especially three of them had been achieved which are; Inclusiveness, Community-based, Sustainability as the mothers happily participated in every training. That leads to the is being realisation one of the UN Sustainable Development Goals), to encourage the society to extend its sustainability and independence. This actually will ultimately help contribute to higher employment, better livelihoods and increased contribution to the economy of Ghana.

(日本語訳)

母親たちの修学歴を考えると、これほど早く学ぶとは思っていませんでしたが、これは彼らが真剣であることを表れなのです。ViViDの原則のうち、特に「包括性」「コミュニティベース」「持続可能性」の3つは、母親たちが事業の全過程に主体的に参加して初めて達成されることです。これは、国連の持続可能な開発目標の一つである、社会の持続可能性と自立を促進することの実現に繋がります。さらに最終的には、雇用の増加、生活の向上、ガーナ経済への貢献の増加に繋がるものです。





### **International NGO ViViD**

The date of founding: 15. February. 2020

Email: [vividvillageJPN@gmail.com](mailto:vividvillageJPN@gmail.com)

### **Annual Report**

For the fiscal year ending  
31. March. 2021

### **To get more information about us...**

- Please visit our website:

<https://vividvillagejpn.wixsite.com/japan>

- Please follow us:

Facebook <https://www.facebook.com/ViVIDVillageJPN/>

Instagram <https://www.instagram.com/vividvillagejp/>

Twitter <https://twitter.com/ViVIDVillageJPN>